

望月 昭教授 略歴 主要著書・論文目録

略 歴

学 歴

1950年12月5日生まれ（東京）

1974年3月 慶應義塾大学文学部心理学専攻卒業

1979年3月 慶應義塾大学社会学研究科心理学専攻博士課程単位取得退学

2001年2月 博士学位（心理学）取得（慶應義塾大学）

職歴・教育歴

1979年－1983年 慶應義塾大学文学部（心理学専攻）助手

1983年－1998年 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所研究員・主任研究員

1998年－現在 立命館大学文学部 心理学専攻 教授

2001年－現在 立命館大学大学院 応用人間科学研究科 教授

学内役職

2000年 研究科長予定者

2001年4月－2003年3月 立命館大学大学院 応用人間科学研究科研究科長

2004年4月－2011年3月 立命館大学・人間科学研究所 所長

2009年－2010年 立命館大学衣笠研究機構 副研究機構長

地域の仕事

2006年－2015年 守山市自立支援法 障害区分認定会議 会長

2007年－現在 京都市北総合支援学校 学校運営協議会 委員長

学会の仕事

行動分析学会常任理事（1997年－2013年）

対人援助学会会長（2012年～2013年 任期中途病氣辞職）

主要著書・論文目録

主著

望月 昭 （2007） 編著 『対人援助の心理学』（朝倉書店）

望月 昭ら （2009） 共編著『対人援助学キーワード集』（晃洋書房）

望月 昭ら （2010） 共編著『対人援助学の可能性』（福村書店）

望月 昭ら （2013） 共編著『対人援助学の到達点』（晃洋書房）

村本邦子ら （2013） 共編著『対人援助学を拓く』（晃洋書房）

論文（立命館時代 1998～）

- ・望月 昭（2001）「障害」と行動分析学：「医学モデル」でも「社会モデル」でもなく，立命館大学人間科学研究，2，11-19.
- ・望月 昭（2001）行動的 QOL：「行動的健康」へのプロアクティブな援助，行動医学研究，7，8-17.
- ・望月 昭（2007）学生ジョブコーチという試み——学生による障害者（生徒）の就労実習支援システム，立命館文学，599，134-140.

- ・石原幸子・青木千帆子・望月 昭（2002）自閉症児のコミュニケーション支援—活動選択の機会設定による効果—，立命館人間科学研究，2002，73-83.
- ・坂本真紀・望月 昭（2002）自閉症児における私的出来事のタクト獲得に関する予備研究—公的刺激を用いた「たのしかった／つまらなかった」の獲得—，立命館人間科学研究，4，113-123.
- ・吉岡昌子・坂本真紀・武藤 崇・望月 昭（2003）. 聴覚障害と知的障害がある個人における動詞・目的語 2 語文の獲得と般化の検討，立命館人間科学研究，6，55-66.
- ・濃添晋矢・南美知代・望月 昭（2004）聴覚障害と知的障害がある生徒における携帯メールを使用した「おつかい行動」の獲得，立命館人間科学研究，7，181-191.
- ・関本正子・溝口裕也・宮浦 崇・望月 昭（2005）オレンジ辞書—専門用語のための共同制作型 Web データベース—，立命館人間科学研究，10，101-110.
- ・丹生卓也・安井美鈴・望月 昭（2005）失語症児における教示要求表現の形成，立命館人間科学研究，10，111-119.
- ・太田隆士・飯田智子・藤井克美・望月 昭（2006）知的障害のあるろう者における携帯メール入力支援の試み—文字入力に及ぼすひらがな表カードの効果，立命館人間科学研究，11，85-92.
- ・飯田智子・太田隆士・藤井克美・望月 昭（2006）知的障害のあるろう者における携帯電話のテレビ電話機能を用いた非音声複数モードによる機能的言語行動の訓練，立命館人間科学研究，11，93-104.
- ・安井美鈴・望月 昭（2006）慢性期失語症者の地域生活成立に向けた取り組み：行動学的 QOL の視点から，立命館人間科学研究，12，11-26.
- ・村上勝俊・望月 昭（2007）認知症高齢者の行動的 QOL の拡大をもたらす援助設定—選択機会設定による活動性の増加の検討—，立命館人間科学研究，15，9-29.
- ・太田隆士・稲生ゆみ子・松田光一郎・望月 昭（2008）総合支援学校高等部生徒の職場体験実習における機能分析とセルフ・マネジメント行動の獲得に向けて，立命館人間科学研究，17，107-116.
- ・松田光一郎・望月 昭（2008）行動障害を呈する自閉症者への積極的行動支援—機能的アセスメントに基づくコミュニケーション行動の改善—，立命館人間科学研究，17，117-128.
- ・松田光一郎・望月 昭（2009）メモリーノートを活用した体験実習におけるセルフ・マネジメントの効果と維持，立命館人間科学研究，18，49-62.
- ・池田沙織・望月 昭（2009）視覚障害者のパソコン操作における晴眼者との共用マニュアルの効果，立命館人間科学研究，18，87-97.
- ・中鹿直樹・望月 昭（2010）課題分析を使った指導の記録を就労支援に活用する，立命館人間科

学研究, 20, 53-64.

- ・林 炫廷・中鹿直樹・望月 昭 (2011) 知的障害のある生徒に対する写真撮影を利用した報告言語行動の増大, 立命館人間科学研究, 22, 87-97.

翻訳

- ・望月 昭・富安ステファニー (1998) 共訳. 「発達障害に関する 10 の倫理的課題」(二瓶社)
- ・望月 昭ら (2009) 共訳「ビギニングコミュニケーターのための AAC 活用事例集」(福村出版)

学会発表

- ・山口真理子・中鹿直樹・望月 昭 (2010) 知的障害のある成人における施設外支援に対する学生ジョブコーチ支援—セルフ・マネジメント行動の形成・維持に向けた支援内容の検討, 日本行動分析学会第 28 回年次大会.
- ・川崎希望・林 炫廷・望月 昭 (2010) 模擬店舗での実習における接客スキルの向上に向けたビデオモデリングの効果, 日本行動分析学会第 28 回年次大会.
- ・青山祥子・伊藤亜里沙・九野和也・吉岡昌子・中鹿直樹・望月 昭・木ノ戸昌之・田谷隆行 (2010) 学生ジョブコーチによる障害者の主体的な業務改善を支える就労支援の方法の検討—『やりがい』をもって働き続けるために—, 日本対人援助学会第 2 回大会.
- ・中鹿直樹・望月 昭 (2013) 知的障がいのある高等部生徒の就労実習における職業行動への自発的関与を促進する条件, 日本行動分析学会第 31 回年次大会.
- ・中鹿直樹・尾西洋平・小島 遼・林 炫廷・望月 昭・土田菜穂 (1995) プロファイリングからポートフォリオへ: 学生ジョブコーチの実践から支援をつないでいくための「情報」について考える, 日本対人援助学会第 6 回大会ポスターセッション.
- ・中鹿直樹・望月 昭 (企画) (2014) 障害のある児童・生徒の継続的支援のための情報共有の仕組みについて, 日本対人援助学会第 6 回年次大会.
- ・中鹿直樹・青山祥子・伊藤亜里沙・九野和也・山口真理子・吉岡昌子・望月 昭・木ノ戸昌之・田谷隆行 (2010) 障害者就労場面における、福祉施設・企業・大学間の連携作業の機能的分析, 日本対人援助学会第 2 回大会.
- ・望月 昭・中鹿直樹・イムヒョンジョン・乾 明紀 (2011) キャリア・アップのための「アクティブ・シミュレーション」の場としての大学の活用, 日本対人援助学会第 3 回年次大会.
- ・林 炫廷・太田隆士・中鹿直樹・望月 昭 (2011) 障害のある人への継続的な就労支援を行うための「できること」についての情報構築—特別支援学校の教員と保護者の連携の下での「できま

- すシート」の書式の検討一，日本対人援助学会第3回年次大会.
- ・辻岡誠也・土田菜穂・森 大典・尾西洋平・林 炫廷・中鹿直樹・望月 昭（2011），大学内模擬喫茶店舗における特別支援学校生徒の就労実習—ビデオモデリングによる「できること」の自己評価指導一，日本対人援助学会第3回年次大会.
 - ・中鹿直樹・望月 昭・朝野 浩・サトウタツヤ・吉岡昌子・寺崎幸子・木戸彩恵・堀田正基・井上 学（2011）障がいのある個人の継続的支援について—障害児支援の強化に向けた福祉と特別支援教育における連携に関する調査一，日本対人援助学会第3回年次大会.
 - ・中鹿直樹・森 大典・尾西洋平・乾 明紀・望月 昭（2012）知的障がい者の分類作業における作業量・作業精度向上に対するセルフ・チェックの効果—信号検出理論に基づく分類カテゴリーの利用一，日本行動分析学会第30回年次大会.
 - ・望月 昭・中鹿直樹・尾西洋平・林 炫廷・乾 明紀（2012）『学生ジョブコーチ』による障がい者就労支援の役割，日本対人援助学会第4回大会.
 - ・尾西洋平・中鹿直樹・林 炫廷・太田隆士・乾 明紀・望月 昭（2012）累積記録を用いたスケジュールの自己管理行動の表現，日本対人援助学会第4回大会.
 - ・中鹿直樹・川村徹也・尾西洋平・望月 昭（2012）知的障がい者の就労場面における役割設定の効果，日本対人援助学会第4回大会.
 - ・小島 遼・中鹿直樹・乾 明紀・望月 昭（2012）障がい者の就労場面において他者を教える行動がもたらす効果，日本対人援助学会第4回大会.
 - ・中鹿直樹・尾西洋平・小島 遼・土田菜穂・望月 昭（2013）知的障がいのある高等部生徒の就労実習における職業行動への自発的関与を促進する条件，日本行動分析学会第31回年次大会.
 - ・井上 栞・尾西洋平・小島 遼・中鹿直樹・望月 昭・土田菜穂・友田英華（2013）模擬喫茶店舗の実習を通して発見された障害がある高等部生徒における伝票計算のためのカイゼン，日本対人援助学会第5回年次大会.
 - ・中鹿直樹・尾西洋平・小島 遼・林 炫廷・望月 昭・土田菜穂（2013）プロファイリングからポートフォリオへ：学生ジョブコーチの実践から支援をつないでいくための『情報』について考える，日本対人援助学会第5回年次大会.
 - ・尾西洋平・井上 栞・小島 遼・中鹿直樹・望月 昭・土田菜穂・友田英華（2013）Café Rits; ポートフォリオを構築するための模擬喫茶店舗：特別支援学校と大学との情報移行を通じてのポー

トフォリオの作成，日本対人援助学会第5回年次大会.

- ・望月 昭 (2013) 継続的キャリア支援としての情報の連携：「情報バンク」「シミュレーションショップ」の構造とその対人援助学的機能（企画ワークショップの企画・司会），日本対人援助学会第5回年次大会.
- ・小島 遼・吉尾玲美・水野しおり・立花周平・渡辺 舞・中妻拓也・中鹿直樹・望月 昭 (2014). 擬似就労場面における『仲間を教える』役割設定が高等部生徒の行動におよぼす効果，日本対人援助学会第6回年次大会.

その他

- ・望月 昭 (2010) 障害のある生徒における「キャリア・アップ」という視点にたった包括支援の方法，秦皇島市特別支援教育公開講演集会.
- ・望月 昭 (2011) 障害のある生徒における「キャリア・アップ」という視点にたった包括支援の方法，秦皇島市特別支援教育公開講演集会と研修.
- ・望月 昭 (2014) 講演「できる」に利子をつける情報バンク～キャリアアップとは子どもと支援者の変化である，京都市立西総合支援学校.
- ・望月 昭・中鹿直樹・上田征樹・上田文彦・清野嘉奈子・小澤牧子・土田菜穂 (2014) 障害のある児童・生徒の継続的支援のための情報共有の仕組みについて，立命館大学人間科学研究所アドバンスト研究セミナー.
- ・望月 昭 (2015) 援助付き能力の拡大を継続的に実現する情報移行の方法：模擬喫茶店リッツの運用の意義，戦略的研究基盤形成支援事業「インクルーシブ社会に向けた支援の＜学＝実＞連環型研究プロジェクト」公開研究会「対人支援における大学と社会実践の連携を展望する」第4部 パネルディスカッション.
- ・望月 昭 (2015) 対人援助学の展開としての「学習学」(Learner's Science) の創造，立命館大学 R-GIRO プログラム成果報告会.

